

基礎看護学

(1年生用)

専門分野

授業科目	看護倫理	講師		氏名	前田 寛美	開講年次	単位・時間			
				所属	専任教員	1年次 前～後期	1単位	30時間		
				実務経験	臨床看護師					
科目のねらい	職業倫理としての「看護倫理」、そして「生命倫理」の観点から、看護職者の自律性と対象の権利擁護、看護実践における法的な責任と倫理的責務について考えてみる。そして、専門職に求められる倫理について、看護師としてあるべき姿勢について、常に自問していくことを期待したい。									
到達目標										
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法的責任と倫理的責務の関係について説明できる。 2. 患者の権利とインフォームドコンセントについて、その基本的知識と関係性（歴史の変遷）について説明できる。 3. プライバシーと守秘義務について説明できる。 4. 倫理原則と価値、そして倫理的ジレンマの関係について説明できる。 5. 患者の意思決定支援としての事前指示書について説明できる。 6. 現代医療における倫理的側面を持つ事例を調べ、倫理的課題を示すことができる。 									
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 1. インフォームドコンセントの注意すべき側面を指摘できる。 2. 事例を通して、倫理的ジレンマと「患者にとって良いこと」の討議ができる。 3. 日本看護協会「看護職の倫理綱領」を使って、事例を検証できる。 4. 自らの行動に関するテーマに対し、自らの主張をディベートによる討議で発表できる。 5. 医療の発展と生命倫理の抱える課題について検討できる。 6. 「生」「死」をテーマにした様々なジャンルの書物・映像に積極的に触れ、自らの価値観を看護職の立場で問い直す。 									
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他者の意見を傾聴できる。 2. 自分と異なる価値観、考えに触れ、自分の考えと比較し取り入れる姿勢を示すことができる。 3. グループワークを通して、自ら積極的に協働する姿勢を示すことができる。 4. 自らの行動を「倫理原則」「看護職の倫理綱領」に照らし内省し、看護師としてあるべき姿勢を示すことができる。 5. 「生」「死」をテーマにした様々なジャンルの書物・映像から、興味を持ったものをクラスメートに紹介できる。 6. 主体的に学習したものをポートフォリオに蓄積させ、講義終了後に蓄積された成果物をさらに凝集させ、オリジナルなものにまとめ提出できる。 									
科目評価	随時試験	①ポートフォリオの提出	30%	②グループワーク参加状況	20%	③小テスト	10%	④ディベート（参加状況・課題レポート）	40%	合計100%
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論（メディカ出版）									
参考文献	看護のための生命倫理 改定三版（ナカニシヤ出版） 看護倫理 見ているものが違うからおこること（医学書院） 看護倫理学入門 文学作品を通して感性と問題解決能力を高める（医歯薬出版株式会社） 美しいままで オランダで安楽死を選んだ日本女性の「心の日記」（祥伝社） ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障④ 看護をめぐる法と制度（メディカ出版）									
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項			
		講義	演習	その他						
1	なぜ、看護倫理を学ぶのか 法的責任と倫理的責務	○			前田 寛美	倫理学 看護学へようこそ 各専門看護学	授業全体についてや課題、文献検索の資料、グループ活動の中で学習した資料、その他主体的に学習を行った成果物をポートフォリオとして整理していくこと ★課題 倫理学の復習をしておく (要点を整理しておく)			
2	プライバシーと守秘義務	○								
3	患者の権利とインフォームドコンセント 1. 歴史の変遷 2. インフォームドコンセントの要件 3. インフォームドコンセントの課題	○	○					★課題 患者の権利に関する、国際的な宣言や条約を調べる。		
4										
5			○	○						
6	倫理的ジレンマと倫理的意思決定 (倫理判断) 1. 倫理原則と「看護職の倫理綱領」 2. 価値について 3. 事例検討	○	○					※-1 小テスト 「患者の権利とインフォームドコンセント」1～3		
7		○	○					★課題 事例検討の内容について、不明な点や興味を持った点など主体的に調べる。		
8		○	○							
9		○	○							
10	生命倫理とは	○								
11	現代医療におけるさまざまな倫理的問題を考える 1. 安楽死と尊厳死 2. 出生前診断の倫理的課題 3. 脳死と臓器移植 4. 遺伝子操作の倫理的課題 1～4のテーマで、ディベートを実施	○	○					★ディベート終了後に課題レポートを提示 ★課題 1～4について調べる。		
12		○	○							
13		○	○							
14		○	○							
15		○	○						◎講義終了後ポートフォリオを提出(最終講義から7日後迄に) ①☆に対する受講前後の学習状況 ②小テストの見直し ③その他主体的に学習を深めるために利用した資料など	
15			○	○						
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。									